

実践研修②《支援教員実践レポート交流に向けて》で、学んだことや今後の実践に生かしていきたいことを教えてください。
中学校の現状を知り、小学校の努めを考えました。今のうちに小学校で出来ることをコツコツやっていきたいと思いました。
学校に行けない児童生徒がたくさんいて、自分と同じ悩みを抱えている先生も多くいらっしやっただので、たくさんの先生に相談しながらすすめていきたいと思った。
悩みを聞いてもらったのが一番よかったです。子どもの実態は学校によって違えども、社会の変容については共通点が多くありました。
小中高の話が聞いて良かったです。
笑顔にしたい子について話をし、グループの方にアプローチの仕方や手立てを教えていただけて大変参考になりました。また、中学校、高校の先生方と交流でき、校種によって違う視点や困り感があることが分かりました。高校が始まってから、気になる子の連絡が中学校から来たという話もあり、小中高の連携はまだできてないのだと感じました。せつかく支援をしているのに引き継がれていないのは勿体無いと思いました。
違う校種の事例を互いに検討し合うことで、環境の違いに気づけたり、違う視点からのアイディアを交換できたりしたのでよかったです。
もっと厳しい状況にある生徒をよく観察したり、話したりしてその生徒の困り感をしっかり把握した上で、その生徒を支援していかなければいけないと感じました。
各先生方の実践を聞き、自分のレポートに対してもたくさんのご意見を伺うことができ、大変参考になった。有意義な時間となった。
担任ではない立場からどのように支援を継続的にやっていくかについて悩みを共有できました。
同じような困り感を抱えた児童についての情報交換が行えて児童理解が深まった。対応等については、まだ学期も浅いところもあり今後、児童との信頼関係を築き、児童のおもいを聞いていく必要があると感じました。
困難な状況にある子について色々話し合うことができよかったです。
ある児童について現時点での実態をまともにもなく話したけど、自分では気づけていないさまざまな点を質問していただいた事で、気づくことができました。また、事象についての見方考え方も、人によって違うのが面白いし、参考になりました。
担任ではない立場からどのように関わっていけばよいのか、悩みや対応を共有できました。持ち帰って系統立ててもう一度考えたい
義務制の悩み事と高校の悩み事は根っこは同じなのかと思いました。知ることは必要ですね。
どのような取組で今後行っていくか参考になりました。
小中の先生方よりご指導の現実的なお話やで苦労を共有でき大変勉強になりました。その子のおかれた生活環境などを知ること、対象の子とかわかることの大切さを学びました。
生徒の実際や行動をふまえて考えるのはとても難しい
他の先生の実践レポートの内容を知ることができ、とても勉強になりました。自分自身のレポートに活かしたいと思います。
小、中、高の事でそれぞれ一つについて情報がしました。それぞれ色々な事があり、先生方が一生懸命対応されていることを理解しました。
小・中・高それぞれの課題がありましたが、校種はちがっても共通の課題があることがわかりました。中学校のRタイムではないですか 小学校でも取り組めるようにアレンジができるかもしれないと思いました。(来年に向けても)
支援教員として、自分がやるべきこと、これからの見通し、レポート作成についてなどたくさんのことが分かりました。
おふたりの先生の子ども支援の取組が参考になりました。また、自分なりに意見、アドバイスをすることができました。
異種ならではの視点からの意見がありがたかった。
今回吉富先生に研修のヒントをたくさんいただいた。人権教育とは？というところを伝えていくのも大事だと思った
小中学校の方が発達障害等の児童や生徒が多い分、苦労が大きいのだろうと思いました。話をうかがっていると、おそらくは県立高校へは入学しないだろうと思われる生徒が多いのだろうと感じました。
普段交流できない義務制の先生方から生徒支援の方法を教授いただき、高校の現場でも生かしていくことができると感じた。やはり声掛けは何気ない一言でも生徒の成長に影響を与えるであろうということが分かったので良かった。
自分のターゲットチルドレンについて、これからどんな視点や立ち位置で支援していくと良いかをイメージしやすくなりました。その子だけでなく、周りの子どもたちもどう行動していくとよいか、行動を促すために自分にできることを考えて実践していきたいです。そのヒントとなるアドバイスやちがう視点からの意見もありがたかったです。
思いもよらず当校の昔の様子、また、経験のない義務教育学校の様子や、なかなか知り得ることのできない貴重なお話をたくさん聞くことができました。とても良い経験になりました。

児童生徒の個人情報をごとまで述べる必要があるか、迷った。
昨年度よりも個に注目してレポートを作成するきっかけになりました。他の先生方から指摘されたり質問されたりしたことをもとに、今後の実践につなげていきたいです。
2人でしたが、お互い、なかなか苦勞しているような気分になりましたよ。 つまり、現状における苦勞や子どもたちの実情や課題などが見えて、よかったと、思います。
3人で小中高の話をしました。それぞれの困難さや取組を知ることができて、同じ校種でなくてもまた違った気づきが得られてよかったです。
他の校種の実践内容を知ることにより、多くの知見を得ることができました。
これからも、児童の実態を把握し、その子にあった指導・助言（自分にできること）をしていくだけです。同じ場所にいたり、同じ空気を吸ったりすることを大切にしていきます。また、担任との連携も大切にしていきます。
知らないことばかりなので、もっと学習していきたいです。